

お知らせ

記者発表資料

平成30年3月30日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成29年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会 第4回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会は平成29年度第一部会第4回定例会議を平成30年3月15日（木）に開催しました。

会議では、平成29年10月1日から平成29年12月31日までの間に契約した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した8件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。審議概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

082-221-9231（代表）

主任監査官 藤原 克己（内線2114）

総務部 契約管理官 女鹿田 富夫（内線2222）

企画部 技術開発調整官 井上 和久（内線3120）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 坂屋 政之（内線2117）

企画部 環境調整官 足立 司（内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成30年3月15日（木） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 河合 研至（大学院教授） 部会長代理 水中 誠三（弁護士） 委員 福田 和恵（公認会計士） 委員 村上 恵子（大学准教授）	
審議対象期間	平成29年10月1日 ～ 平成29年12月31日	
抽出案件	総件数 8件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO対象）	2件	
一般競争入札方式 （WTO対象外）	3件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
通常指名競争入札方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日）

【工事】

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
三隅・益田道路新沖田川橋下部工事	一般土木工事	14	12	平成29年10月23日	大豊建設(株)	1,978,560	90.79	浜田河川国道事務所
東広島バイパス海田高架橋1号橋鋼上部工事	鋼橋上部工事	19	19	平成29年11月15日	宮地エンジニアリング(株)	744,120	90.32	広島国道事務所

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
旭川中原堤防工事	一般土木工事	9	9	平成29年10月31日	蜂谷工業(株)	209,520	90.22	岡山河川事務所
福山管内区画線設置第2工事	塗装工事	1	1	平成29年10月5日	宮川興業(株)	34,560	94.81	福山河川国道事務所
広島西部山系小方2号砂防堰堤工事	一般土木工事	1	1	平成29年12月22日	(株)三洋技建	156,600	96.26	太田河川事務所

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
八田原ダム電気設備設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	4	4	平成29年11月6日	日本工営(株)	16,027	82.35	八田原ダム管理所

○通常指名競争入札方式

業務名	業種区分	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
山口森林管理事務所耐震 その他改修工事監理業務	建築関係建設 コンサルタント業務	21	9	平成29年10月6日	CFC波多野建築設計事務所	5,011	75.82	中国地方整備局(本局)

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
応急組立橋架設点検外	役務[その他]	1	1	平成29年12月11日	(株)IHIインフラ建設	13,500	99.13	中国技術事務所

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>Q 1. 「談合情報等への対応状況」で報告があった入札を取り止めた業務は、また入札をやりなおしたのか。</p> <p>Q 2. 「入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等」で報告があった随意契約のうち、ポリ塩化ビフェニルの廃棄処理も随意契約となるのか。</p>	<p>A 1. 再発注はしていない。</p> <p>A 2. ポリ塩化ビフェニルの廃棄処理業者は法令で指定されており、当該業者と契約を行わざるを得ないため、随意契約を行った。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 三隅・益田道路新沖田川橋下部工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格審査表によると、M社の「配置予定技術者の資格・経験・重複」は「一部否」であるにもかかわらず資格有となっているがなぜか。</p> <p>Q 2. 入札調書によると8社が無効となっているが、これは一般的なのか。</p> <p>Q 3. そういう事情で入札額が調査基準価格を下回ったのであれば、低入札価格調査を行い契約できなかったのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 複数の技術者の登録が可能となっており、M社は技術者を3名登録し競争参加確認申請を行っていた。3名のうち1名は施工実績の要件を満たしていなかったが、2名は要件を満たしていたので、「一部否」であるが競争参加資格は有とした。</p> <p>A 2. 8社が無効というのは多い。この8社は調査基準価格を下回った業者である。参加業者の積算内訳書と官積算を比較すると、夜間コンクリートの積算単価に差が生じている。本工事は昼夜にわたりコンクリートを打設する工事であるが、益田地区では夜間のコンクリート単価が公表されていないため、官積算は見積を徴収して適正な価格を算定している。無効となった8社は、公表されている広島等他地区の単価を参考に積算したため、入札額が調査基準価格を下回ったと推察される。</p> <p>A 3. 低入札価格調査をするために8社に資料の提出を依頼したが、8社とも資料の提出を辞退した。</p>
2) 東広島バイパス海田高架橋1号鋼橋上部工事	

<p>Q 1. 入札調書によると落札業者の技術提案の加算点は満点となっているが、これは多いのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 近年では鋼橋上部工事で満点というのは少なくなってきたが、提出された資料をもとに評価した結果であり満点になることもある。</p>
<p>3) 旭川中原堤防工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格確認結果通知書の「施工計画に最低限記載すべき事項が記載されていないため」とはどういう意味か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 施工計画が白紙であったため、「施工計画に最低限記載すべき事項が記載されていないため」とした。</p>
<p>4) 福山管内区画線設置第2工事</p> <p>Q 1. 「工事技術的難易度」を「やや難」と判断した理由は。</p> <p>Q 2. 「工事技術的難易度」が「易」とはどういうものか。</p> <p>Q 3. 1社しか参加していないが、どういう理由が考えられるか。</p> <p>Q 4. 上期もこの業者が落札しているのか。</p> <p>Q 5. 入札調書によると落札業者の「地域における本支店・営業所の有無」の加算点が0点となっている。受注したのは広島県内の業者ではないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 「工事技術的難易度」の判断要素のうち、「社会条件」として現道での作業であること、「マネジメント特性」として他工事との調整や警察等の関係機関との協議があることから、総合的に判断し、「やや難」とした。</p> <p>A 2. 駐車場の区画線工事等、交通規制を伴わない工事は「易」となる。</p> <p>A 3. 区画線工事の発注件数は近年減少傾向にあり、それに伴い業者や技術者も減ってきている。また、区画線工事を施工する業者は本工事のような塗装工事だけでなく、維持修繕工事や一般土木工事も受注しており、本工事の発注時期の10月には、既に他の工事を受注しているため1社しか参加しなかったと推察される。なお、当事務所では上期と下期に分けて発注しており、上期は3社が参加している。</p> <p>A 4. 本工事の受注者が落札している。</p> <p>A 5. 総合評価における評価基準は備後地方生活圏内に本支店又は営業所がある場合に加点することとしている。当該業者は広島県内の業者ではあるが備後地方生活圏内に本支店や営業所が無い場合、加算点は0点となっている。</p>
<p>5) 広島西部山系小方2号砂防堰堤工事</p> <p>Q 1. 参加業者のうち1社が辞退をしているが、どういう理由で辞退したのか。</p> <p>Q 2. 競争参加資格確認申請者が少ないと思われるが、なぜか。</p>	<p>A 1. 辞退した業者にヒアリングしたところ、「他の工事の入札にも参加しており、工事内容や施工箇所等を考慮し辞退した。」との回答であった。</p> <p>A 2. 参加可能者数は96社あるが、発注時期が12月になったことから、申請者は2社になったと推察さ</p>

<p>Q 3. 発注時期が遅れて12月となったことから参加者が少なくなったのであれば、もう少し早く発注できないのか。</p> <p>Q 4. 工事場所が大竹市なので、参加業者が少ないのであれば、岩国地方生活圏の業者も参加できるようにすることはできないのか。</p> <p>Q 5. 同種工事の施工実績の評価基準として、「平成26年8月20日広島豪雨土砂災害における緊急砂防事業に位置づけられた発注工事においては、堰堤高、堤頂長が上記未満の実績であっても、計画堰堤高、計画堤頂長が上記条件を満たしている場合にはより高い同種性が認められる工事として認める」とあるが、どういう意味か。</p> <p>Q 6. 入札調書によると、「企業の施工実績」の「同種工事の実績」の加算点は0点であるにも関わらず「配置予定技術者の能力」の「同種の工事実績」は4点となっている。同じ項目で加算点に差が生じている理由は。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>れる。</p> <p>A 3. 先行する別工事で支障となった物件を本工事の施工場所に一旦仮移設し、元に戻す時の地元協議に時間を要したため発注時期が遅くなった。</p> <p>A 4. 広島地方生活圏内に営業所等がある業者が96社あること、また広島県内の工事であることから、競争参加資格の要件を広島地方生活圏内に営業所等がある社に設定している。</p> <p>A 5. 緊急砂防事業は事業を迅速に進めるために、1つの砂防堰堤を分割発注する場合もあるため、砂防堰堤の全体計画が評価基準を満たせば加算点の対象となるという意味である。</p> <p>A 6. 同種工事の実績について、それぞれの評価基準が異なることから加算点に差が生じている。「企業の施工実績」は砂防堰堤高と堤頂長の両方の条件を満足すれば4点、「配置予定技術者」の「同種工事」は、両方を満足すれば8点、片方を満足すれば4点が加算されるためである。</p>
<p>6) 八田原ダム電気設備設計業務</p> <p>Q 1. 入札調書によると、参加業者の技術点で大きな差が生じているのは「業務理解度」であるが、どういう点で差が生じたのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 点数が高い業者は、ダムの運用を継続しながら既設の電気設備を更新することについての理解度が高かった。</p>
<p>7) 山口森林管理事務所耐震その他改修工事監理業務</p> <p>Q 1. 調査基準価格はどのように算定してるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 「予算決算及び会計令第85条の基準の取扱いについて」で定められているとおり、直接人件費の額、特別経費の額、技術料等経費の額、諸経費の額から算出している。</p>
<p>8) 応急組立橋架設点検外</p> <p>Q 1. 過去も同じ業者が受注しているのか。</p> <p>Q 2. 参加可能者数が58社あるにも関わらず2社しか</p>	<p>A 1. 平成27年度、平成28年度は同じ業者が受注している。平成26年度は別の業者と契約している。平成27年度は2社が入札に参加している。</p> <p>A 2. 平成29年度も参加要件を拡大して発注を行った</p>

<p>参加しない理由は何が考えられるか。</p> <p>Q 3. 参加可能業者はどのような業者か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>が、新材ではないことと、組み立てて点検するため、参加が少なかったと推察される。</p> <p>A 3. 参加可能業者は鋼橋の製作会社や、実際に災害現場で応急組立橋を架設する建設業者や点検整備の実績がある業者である。応急組立橋について周知不足もあると思われるため、業界団体等に応急組立橋の見学会を実施するなど周知を図っている。</p>				
<p>(3) 再苦情処理の報告</p>					
<p>該当事案なし</p>					
<p>平成30年度 入札監視委員会</p> <table border="0" data-bbox="159 918 1468 1164"> <tr> <td data-bbox="159 918 798 1030"> <p>総会の開催予定</p> </td> <td data-bbox="798 918 1468 1030"> <p>平成30年6月27日(水) 14時00分～ 広島合同庁舎 4号館附属棟 海技試験場 2階会議室</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1030 798 1164"> <p>第1回定例会議(第一部会)の開催予定</p> </td> <td data-bbox="798 1030 1468 1164"> <p>平成30年6月27日(水) 14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 近森委員</p> </td> </tr> </table>		<p>総会の開催予定</p>	<p>平成30年6月27日(水) 14時00分～ 広島合同庁舎 4号館附属棟 海技試験場 2階会議室</p>	<p>第1回定例会議(第一部会)の開催予定</p>	<p>平成30年6月27日(水) 14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 近森委員</p>
<p>総会の開催予定</p>	<p>平成30年6月27日(水) 14時00分～ 広島合同庁舎 4号館附属棟 海技試験場 2階会議室</p>				
<p>第1回定例会議(第一部会)の開催予定</p>	<p>平成30年6月27日(水) 14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 近森委員</p>				